

最高裁秘書第3033号

平成30年7月25日

山 中 理 司 様

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高 橋 滋

理由説明書の写しについて（送付）

下記の諮問について、最高裁判所から当委員会に提出された理由説明書の写しを別添のとおり送付します。

記

諮問番号 平成30年度（最情）諮問第29号

（担当）秘書課文書開示第一係 電話03（3264）8330（直通）

平成30年7月20日

情報公開・個人情報保護審査委員会 御中

最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦

理由説明書

下記1の諮問について、下記2のとおり理由を説明します。

記

1 諮問日等

(1) 諮問日

7月20日

(2) 諮問の要旨

苦情申出人は、最高裁判所がした不開示の判断に対し、2018年3月号の「自由と正義」の記載を理由に本件対象文書は存在する旨主張しているが、当該判断は相当であるとする。

2 理由

(1) 開示申出の内容

最高裁判所調査官室の勉強会における配付資料（直近に行われたもの）

(2) 原判断機関としての最高裁判所の判断内容

最高裁判所は、(1)の開示の申出に対し、6月14日付けで不開示の判断（以下「原判断」という。）を行った。

(3) 最高裁判所の考え方及びその理由

最高裁判所内において、本件開示申出に係る文書を探索したが、該当文書は存在しなかった。

なお、最高裁判所調査官個々人の研究、研さんを図るために勉強会が実施さ

れることはあるものの、このような性格の勉強会において、司法行政文書が作成、取得されることは予定されていない。

したがって、原判断は相当である。